

多彩な薬剤師の「職」を知る！

ふじのくに 薬剤師シゴト大全

— fujinokuni yakuzaiishi shigoto taizen —



スペシャリスト派もジェネラリスト派も **必読！**

病院・薬局・製薬企業といったメジャーな職場はもちろん、それ以外にも、静岡県には薬剤師が活躍する幅広い職場環境があります。自分に合ったやりがいある職場を見つけるためのヒントをこの一冊から見つけてみませんか？

薬剤師の職場の多様さは、静岡県の出るものなし!?

実は医薬品産業がさかんと言われる静岡県。その理由と薬剤師の仕事について、静岡県健康福祉部薬事課の杉井邦好さんと科研製薬株式会社静岡工場の横山政明さんに聞きました。日本人の健康と美は静岡県が支えていました。



異なる職種の業界
二者対談@科研



静岡県健康福祉部薬事課 課長
杉井 邦好さん

科研製薬株式会社静岡工場 工場長
横山 政明さん

静岡県は、薬剤師のフィールド無限大

医薬品に携わるなら、まずは静岡を知るべし

— 薬剤師と関係の深い医薬品・化粧品業界にとって、静岡県はどんな地域なのですか？

静岡県薬事課 杉井さん…静岡県は、発表されている最新の統計では、平成22年から平成25年の4年間、医薬品と医療機器の生産金額が全国1位でした。医薬品で言えば全国シェアの10%ほどを占めています。また化粧品生産も盛んで、静岡県が『日本人の健康と美を支えている』と言っても過言ではないのです。

科研製薬 横山さん…当社は、本社が東京ですが、昭和30年代に養醗関係の膨大な水を使う工場をつくることになり、その際に、現在の場所（藤枝市）に工場建設を決めました。近くに大井川があり、静岡県のように水が豊富で大都市圏にも近い環境は、製薬企業にとって大きなメリットです。

杉井さん…科研さんに来ていただいた昭和30年代くらいから、本県には医薬品・医療機器メーカーが集積してきました。自然環境はもちろん、現在は2本の高速道路も整備されるなど、交通の要所であることもポイントです。ま

国際的に認められた県の薬事機動班が、医薬品製造と輸出を支える

た県東部においては、富士山麓先端医療産業集積構想（ファルマバレープロジェクト）をつくり、官民協働での製薬・創業の拠点づくりも推進中です。実はリーマンショックが起きた際に、様々な業界に多大な影響が出るなか、どんな時にも必要な医薬品業界にはほぼ影響がありませんでした。静岡県は健康寿命日本一を謳っているのです

「健康」をテーマとした産業には、今後も安定的な発展が期待できます。— 静岡県は「薬学」がとりわけ必要とされる地域と言えそうですね。静岡県にある薬剤師の仕事はどのようなものがありますか？

杉井さん…病院や薬局で調剤を行う薬剤師のイメージは具体的に持ちやすいと思いますが、その大きな2つの選択



肢以外にも、薬剤師資格や、学んできた薬学を活かす場は多くあります。静岡県庁で言えば、医薬品・化粧品販売や製造管理をチェックする薬事衛生だけでなく、水質分析や富士山麓の不法投棄の監視などの環境保全の仕事も県の薬剤師が担っています。特に薬事機動班という医薬品等の製造所の監視専門チームは他の都道府県にはありませんから、関係産業が盛んである証拠とも言えるでしょう。医薬品はグローバルな商品なので、EUなどの査察調査員の基準と私たち県の査察基準が同じレベルにあることも求められます。静岡県のチェック基準が国際的にも認められているから、医薬品の輸出がスムーズに行われているんですよ。

横山さん…「機動班」という名前からしてすごいですよね。他県の業界関係者から、「静岡県は薬事機動班がいるから大変だよな」なんて言われます。でも実際には、一方的な指導ではなくて、薬剤師の立場からより良い製造環境のためのアドバイスもしてくれるので企業側としても助かっているんですよ。確かな基準でチェックしてもらっているというのは何より安心です。海外から査察が来ても動じなくて済みますからね。

静岡県庁の薬剤師の仕事

およそ170名もの薬剤師が働いている静岡県庁。行政薬剤師の担う業務は、薬事行政・衛生行政・環境行政・研究、試験検査業務と幅広い。特に静岡県では、県内東部地域を拠点に、医薬産業の集積と発展を目的とした「ファルマバレープロジェクト」を推進中。また日本の大学で初めてとなる「創業探索センター」を静岡県立大学に開設するなど、医療健康産業の育成にも注力しており、その業務の最前線においても、薬剤師が携わっている。



(ファルマバレーセンター) 県立がんセンター研究所内にある同センターでは、共同研究、臨床試験、製品開発支援などワンストップサービスを提供している。



株式会社アイドラッグ 代表取締役 石川優子さん
モットーは「利益を出すためではなく、利益が出るくらい良い仕事」。

静岡県で見つける
薬剤師職アラカルト
「薬局」と言っても職場環境は十社十色。
高齢社会を迎えた現代だからこそ、
地域密着にこだわりサービスを提供する先輩に注目！



築160年の古民家を利用した「デイサー
ビス花桃」は視覚が不自由な方にも対応。



本部（西瀬名）に併設される「はっぴーす
ずらん」。暮らしの困りごとに何でも対応！

■ 株式会社アイドラッグ

〒420-0914
静岡市葵区西瀬名
町21-16
☎ 054-261-9206
FAX 054-264-3567
HP <http://www.aidrug.jp>



時代を先読み。
在宅訪問サービスの草分け
株式会社アイドラッグは、現在静岡市内
に8店舗の薬局『すずらん薬局』を展開し、
3つのデイサービスも運営する。開業38
年目を迎えた同社を率いるのは、京都府出
身の石川優子さん。「静岡には大学進学を
機に來たのですが、開業からずっと地域の
人に支えてもらいました。だから私は、顔
の見える薬剤師として、仕事で恩返しがし
たいんです」。開業時から薬剤師と介護の
連携に注目してきた石川さん。現在、複数
の診療科から薬を貰う高齢者の薬の管理や、
できるだけ効果を下げずに服薬量を減らす
調整を行うなど、在宅患者に対応できる薬

剤師の需要は高まっている。「すずらん薬
局」は全ての店舗で在宅サービスに対応し、
従業員には現場で円滑なコミュニケーション
が取れるよう、同社のデイサービスで研
修を行う。アイドラッグの事業全体がシー
ムレスに運動することで、変化のめまぐる
しい業界で、今求められているサービスを
実現させているのだ。すずらん薬局のモツ
トーは、「相談薬局」。相談と言っても幅広
く、以前に夫婦喧嘩の相談まで舞い込んで
きたというから、すでに地域に欠かせない
存在であることがわかる。今後ますます患
者の日常生活を踏まえた健康サポートが求
められる。アイドラッグが示す薬局・薬剤
師の姿が先陣をきつて、これからの地域の
安心と健康を照らしていくだろう。



高齢社会のニーズ
対応は必須です。

工場真横には良質な水をもたらす大井川が流れる。「工場でお茶を淹れる時にも、井戸から汲み上げた伏流水を使います」と横山さん。



調剤薬局の「かかりつけ薬局」化。 薬剤師の職も変化していく。

杉井さん…産業規模が大きいゆえの
メリットは他にもあつて、例えば静岡
県の製薬協会には115社が加盟して
おり、関係者で合同研修や情報交換を
行っています。もちろん医薬品・医療
機器・化粧品と、それぞれ専門の違う
薬剤師が集まりますから、関わる製品
は違えど、横断的に交流が図れるのも、
当事者である薬剤師にとっては刺激的
な環境ではないでしょうか。

場の管理監督など薬剤師が必須の場も
あれば、資格を持ったMRとして活躍
している人もたくさんいるように、薬
学を学んできた経験が活かせる場は数多
くあります。一企業で働く中で、軌道
修正しながらキャリアを積んでいくの
も面白いですよ。

杉井さん…2025年に団塊の世代が
後期高齢者となることを受け、これか
ら最も変化を求められる薬剤師の職場

横山さん…実際に私たちも他企業の方
と交流するなかで、工場運営に関して
気をつける点や、もつと工夫できそう
な点を学んだりしています。互いに
持っている知識・経験を深め合う機会
にも恵まれている地域だと思えます。

——これから薬剤師として働く学生に
向けて伝えたいことはありますか？

横山さん…製薬会社であれば「新薬開
発」に関心を寄せる人が多いでしょう。
でも今は、**新薬の実現に辿り着けるの
は、一万分の一の確率**とも言われてい
る非常に厳しい時代です。開発を目指
すことも素晴らしいと思いますが、工

剤師の仕事も時代とともに変わるので
す。社会の流れの中で、本当に自分に
向いている、希望したい、と思える仕
事に就いていただくためにも、薬剤師
の就ける多様な仕事を知ってもらいた
いです。県庁では、県民全体の健康・
安全を守る仕事が続いています。ぜひ
行政の仕事にも注目してください。

杉井 邦好さん

静岡県健康福祉部薬事課課長。生まれも育
ちも静岡市。3.11を受け、災害時に薬剤
管理を行う人材の必要性を感じ、「災害薬
事コーディネーター」の制度を設計。

■ 静岡県庁（薬事課）

〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
☎ 054-221-2410
FAX 054-221-2199



横山 政明さん

科研製薬静岡工場工場長。静岡市生まれで
新工場建設とともにUターン。工場長に
なってからお付き合いのために始めたゴルフ
が今ではすっかり趣味になっている。

■ 科研製薬株式会社 静岡工場

〒426-8646
藤枝市源助301
☎ 054-635-2290
FAX 054-635-6924



薬学部生
のこまごま
扱う情報が異なる薬剤師同士
の豊富なネットワークをつく
れるのは静岡県の強み！



薬剤師のお仕事 不法投棄 パトロール 一日密着



静岡県東部健康福祉センター廃棄物課
中村仁さん、中川秀和さん（左から）

薬剤師がゴミの処理？
実は大切な薬剤師の仕事

静岡県は、県内に7カ所ある健康福祉センターのうちの4カ所に、廃棄物関係業務を担当する薬剤師を配置している。廃棄物行政の役割は、循環型社

会の形成に向けた廃棄物の発生抑制や再使用、再利用ほか適正処分の推進だ。具体的には、排出事業者等に対する啓発や産業廃棄物処理業の許可事務、指導監督等を行う。また不法投棄対策も重要な一業務であり、なかでも、沼津市にある東部健康福祉センターの廃棄物課では、西は富士市から東は山梨・神奈川県境まで14市町を所管し不法投棄対策を行っている。

この日は同課の中川秀和さん（専門主査）と中村仁さん（技師）の富士山麓・林道丸火線のパトロールに同行。「丸火線とその周辺は不法投棄多発地帯で、道路より低くなっている沿道や、林の中の窪地にゴミが捨てられやすいので」と中村さんと言う。発見したゴミは、一般廃棄物であれば、それを所管する市町へ報告すれば市町が処理してくれたりするが、産業廃棄物となるとそうはいかない。こうした時排出事業者が法律に則った処理を指導するのが県の役割だが、不法投棄の場合、そもそも誰がゴミを捨てたのかわ



廃棄物であれば、それを所管する市町へ報告すれば市町が処理してくれたりするが、産業廃棄物となるとそうはいかない。こうした時排出事業者が法律に則った処理を指導するのが県の役割だが、不法投棄の場合、そもそも誰がゴミを捨てたのかわ

合、そもそも誰がゴミを捨てたのかわ



パトロールに行きます



13:30



不法投棄多発地帯なんです

14:00



14:30



市役所との情報共有も行います

15:20



16:30

目撃情報のある現場へ！
課内で共有していた2カ所の不法投棄情報をもとに、捨てられている廃棄物の詳しい位置について確認を行い現場へ。目的地は草木が多いので、動きやすい服・靴は重要で、ゴミ関連の法令集も必携です。



ポイントをおさえて確認
ゴミは脇道、窪地に隠れるように捨てられるので要注意！ちなみに、僕も同僚も、車内で立ち入り先や不法投棄情報の資料を読みますが、舗装されていない林道を一定時間走るので、新人は車酔いに注意。



プラスチック片を発見！
道路脇にプラスチック片を確認。大きさと数もあるため一般廃棄物ではなさそう。今回は記録写真を撮り、位置情報を記録しておきます。今はスマホで位置をすぐに確認できますから、便利になったものです。



何袋もの巨大ゴミが……
空き地で発見された建設資材関係のゴミの山。車で走っていたら草陰で見過ごしそうですが、そこを見落とさないのが我々の仕事です。排出者不明のため、土地所有者に知らせ、処理や再発防止を促します。



市と連携して適正処理
不法投棄対策は市町でも行うため、得た情報はその地域の役所と共有します。この日は富士市の廃棄物対策課へ。ときに市町から情報提供をしてもらうことがあるので、重要な連携先でもあるのです。



帰庁後は報告と次の準備
帰庁後は早速報告をまとめます。またパトロールだけでなく、業者への立ち入りも重要な業務なので、近々立ち入り予定の施設の見取り図を確認したり、毎年必ず提出される報告書も、目を通し予習します。



明な場合がほとんどだ。この場合は、土地所有者に状況を伝え、廃棄物の処分や再発防止を図るよう促すことも廃棄物課が担っている。「普段は、週3〜4日行う産廃業者等への立ち入りの合間にパトロールを行っています。最近では廃棄食品の横流し問題がありました。パトロールや業者への立ち入りも、社会的問題と直結していて、そこに自分が携わっていることにやりがいを感じます」と中川さんは語る。

監視・指導する側の県職員が業者に対峙するためには、幅広い情報収集や日々の勉強も欠かせない。「廃棄物の適正処理の視点からすると、廃棄物の発生過程を理解しておくことが必要になります。化学的な組成や特徴などを含めての勉強が必須です」と中川さん。廃棄物行政に必要とされる素養は、薬局で働く薬剤師に求められているのと同じなのだ。

中川 秀和さん

静岡県東部健康福祉センター廃棄物課不法投棄対策班・専門主査。静岡県出身。過去には、静岡県立総合病院、ファルマバレーセンターに赴任経験もあるベテラン職員。



必読書『廃棄物処理法令・通知集』

中村 仁さん

静岡県東部健康福祉センター廃棄物課不法投棄対策班・技師。埼玉県出身。入庁1年目で現在の部署へ。「様々な業務を経験したくてあえて静岡県を受験しました」。

■ 静岡県東部健康福祉センター
〒410-8543
沼津市高島本町1-3
☎ 055-920-2074
FAX 055-929-2191

薬学部生 のひまわり

世界の宝・富士山をはじめとする豊かな自然は、陰で薬剤師が支えているんですね！



これからの社会で求められる薬剤師とは？

就活を目前に控えた薬学部生の川崎温子さんと有泉早紀さん。
学んできた薬学を人や社会のためにより良い形で活かすためにはどうしたら良いのか？
薬剤師として静岡県庁で働く内田貴啓さんと八木聡子さんに、現役生が聞きました。



誰のために働くか。
仕事も宛先が大切。

特別対談
先輩薬剤師
×
現役薬学部生

静岡県くらし・環境部
八木 聡子さん

八木さん…初めはわからないことだらけです。自分が社会でどう人々の生活に貢献できるのか、先ほど製薬会社と言いましたが、県庁等も含めて悩んでいます。

静岡県くらし・環境部
内田 貴啓さん

内田さん…私が就活した時は、最後まで悩んでいましたよ。自分の性格的に飽きがいのような職場環境が合っているか、静岡県なら薬事衛生から環境衛生、研究や産業界育成などあらゆる分野の仕事を経験できると知って受験しました。

静岡県立大学薬学部薬学科
有泉 早紀さん

有泉さん…私は、病院薬剤師として研究もできる大病院で働くことを目指しています。インターンシップや実習で様々な職場を見させてもらいましたが、私は患者さんに近い位置で働ける環境に特に惹かれています。

静岡県立大学薬学部薬学科
川崎 温子さん

川崎さん…私は臨床試験を行う研究室に所属しているので、現時点では製薬会社における新薬の開発に関わる職種に関心があります。

自分が譲れないこと II
「仕事選びの軸」。

静岡県で見つける
薬剤師職アラカルト



中北薬品株式会社 薬事管理本部長 鶴橋久美子さん
静岡支店管理薬剤師 北村幸子さん (左から)



鮮やかな緑の車体と赤いロゴマークの社用車は、中北薬品の走る広告塔！



創業290年の中北薬品の誇りである資料庫。中にはメーカーにも無い貴重な資料も。

■ 中北薬品株式会社

静岡支店
〒422-8005
静岡市駿河区池田
65番地の6
☎ 054-203-7700
HP <http://www.nakakita.co.jp>



医薬品を使うことができるのは卸売業のおかげ。
東海圏を中心に支店を構える中北薬品株式会社。同社は医薬品製造も行うが、病院や薬局などに薬を販売し、届ける、医薬品卸売販売が主要事業だ。膨大な医薬品は、管理方法も様々なため、専門知識のある薬剤師が欠かせない。商品価値を損なわないように、支店毎に管理薬剤師が品質管理を行い、物流担当者の指導も担う。静岡支店で管理薬剤師として働く北村幸子さんに1日の仕事を伺うと、「適正販売・温度管理はもちろんですが、MSからの問い合わせを受けたり、薬は一つずつが厳格に管理されるものですから、使われなかった商品

の返品までが大変な仕事です。ほぼ毎日これらを行うので、時間があつという間です」。静岡支店だけで扱う商品は64000点。支店によって扱う分野や数は異なるが、卸売業は、最新の治療薬だけでなく、以前から使われ続ける薬も取り扱うため、薬局等を通じて顧客からの問い合わせに対応するために、日々膨大な情報と向き合う。本部で管理薬剤師をとりまとめている鶴橋久美子さんは、「薬の作り手と使い手の間に立つので、法律や医療保険制度などの知識も必須。大変ですが、関連業界どこに行っても話についていけるようになります」と仕事の醍醐味を教えてください。卸売業の薬剤師は業界内のハブとなることで、最終的には多くの人々の健康を支えているのだ。



「下田など様々な県内地域で働けるのも県の特徴です」と内田さん。

うになりました。
 — 静岡県庁には薬剤師の様々な仕事がある中、内田さんと八木さんは現在どのような業務を担当していますか？
 内田さん・私の今の所属はくらし・環境部環境局の廃棄物リサイクル課です。市町にあるゴミ焼却場などの管理状況を監視・指導しています。ちなみに去年までは、下田市にある賀茂健康福祉センターで水道事業の監視・指導を担当していました。
 八木さん・私も内田さんと同じ環境局の生活環境課で公害関係の業務に携わっていて、大気汚染や水質汚濁の監

けですよね。私の場合は、そもそも薬剤師として働きたかったというより、好きな化学を学んで、資格も取れる学部が良いと思つた結果、薬学部に入ったという状況でした。ですから就職先選びも0からのスタートで、病院・薬局の実習やCROのインターン、製薬会社の見学など、まずは多様な職場を知るように心がけたんです。最終的な判断軸は、例えば薬局や製薬会社等の専門に特化するスペシャリストになりたいのか、反対に行政等で幅広い分野を対象として仕事をするジェネラリストになりたいのか、という二択で、私は後者がいいと思つたんです。
 有泉さん・私もつい最近まで悩んでいましたが、実習等の振り返りをきつかけに方向性が見えてきたんです。今は患者さん一人ひとりに向き合えることを軸に就活をしようと思つました。
 川崎さん・私は病院実習を通して有泉さんと反対のことを考えるようになって、どちらかと言えば多くの人に働いて仕事をしたいと思うようになりまし

資格があるからこそ、その期待に応える仕事がしたい

— 今かかつけ薬剤師に注目が集まるなど、社会の変化とともに求められる薬剤師像も変わってきますが、これから社会で働く薬学部生の皆さんに先輩の立場から伝えたいことは？
 八木さん・同じ仕事を続けていたとしても、社会の状況や制度は変わっていきますし、薬もどんどん新しいものが出てきますから、自分の専門領域に関わらず広く情報収集はしていた方がいいと思いますね。やりたいと思つた仕

事や、また騒音・振動問題の相談を受けています。以前は私も賀茂健康福祉センターで、薬事・食品衛生等を担当して、特徴的な仕事としては、薬局や病院の監視・指導のほか、旅館の調理場の監視にも行きましたし、温泉の監視・指導にも関わりました。会社を変えなくても、異動という転職のような機会が必然的にあるのは刺激にもなります。
 内田さん・私も同感です。最近では6年制を経た人材が入ってくることに期待もあると思います。だからこそ、と云つたらプレッシャーになるかもしれませんが、やはり働き出しでも勉強し続けたいです。
 川崎さん・資格が直接活かせるか、だけではなくて、一人の薬剤師、一人の人間として、真摯に仕事ができる道を見つけていきたいです。
 有泉さん・静岡県にある薬剤師の仕事の多様さを垣間見れた気がします。専門特化で仕事をするとしても、幅広い知識を身につけるよう心がけて、より自信を持って患者さんと向き合えるようになりたいと思います。

継続的な勉強は必須。

視、また騒音・振動問題の相談を受けています。以前は私も賀茂健康福祉センターで、薬事・食品衛生等を担当して、特徴的な仕事としては、薬局や病院の監視・指導のほか、旅館の調理場の監視にも行きましたし、温泉の監視・指導にも関わりました。会社を変えなくても、異動という転職のような機会が必然的にあるのは刺激にもなります。

事や、また騒音・振動問題の相談を受けています。以前は私も賀茂健康福祉センターで、薬事・食品衛生等を担当して、特徴的な仕事としては、薬局や病院の監視・指導のほか、旅館の調理場の監視にも行きましたし、温泉の監視・指導にも関わりました。会社を変えなくても、異動という転職のような機会が必然的にあるのは刺激にもなります。



昨今、薬局薬剤師に求められる「かかつけ薬剤師」。静岡県庁で働く内田さん、八木さんは、現在の部署では直接的な関わりはないものの、今後その動きを補助金や研修等の制度をつくり支える立場になる可能性もあるため、情報収集は欠かせない。



座談会メンバー

現在約9割の薬剤師が、病院・薬局・医薬品関係企業で働く。その中で行政薬剤師の道を選んだ先輩にその理由や仕事の面白さを伺いました。

◆先輩薬剤師

内田 貴啓さん

静岡県くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課一般廃棄物班(技師)。「大学の同級生とは職種を越えて今も情報交換をしています」。



八木 聡子さん

静岡県くらし・環境部環境局生活環境課大気水質班(技師)。「県の仕事は、多くの人に対する制度設計に関わるのが醍醐味です」。



■静岡県庁

〒420-8601
 静岡市葵区追手町9-6
 ☎054-221-2410



◆薬学部生

川崎 温子さん

静岡県立大学薬学部薬学科5年。臨床試験を行う研究室に在籍。研究室の先生が静岡県の治療ネットワークと関わりあることが取材で判明。



有泉 早紀さん

静岡県立大学薬学部薬学科5年。大学ではがん治療効果のある高分子の開発研究を行っている。



薬学部生のひこう

まだ出会っていない薬剤師の仕事が沢山あることを認識して納得できる就活をしたい！



2016年2月発行

ふじのくに 薬剤師シゴト大全

発行

静岡県健康福祉部薬事課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

☎054-221-2410

www.pref.shizuoka.jp/kousei/

ko-530/yakujisidou/mayaku/

企画制作

特定非営利活動法人 静岡時代

〒420-0042

静岡市葵区駒形通1丁目3-4 305

☎054-260-7271

www.shizuokajidai.net/

制作協力

有泉早紀 (静岡県立大学薬学部)

川崎温子 (静岡県立大学薬学部)

橋本正寛 (静岡県立大学薬学部)

デザイン協力

亀澤希美子



静岡県薬事課からのお知らせ

薬剤師として静岡県で 働いてみませんか？

広く県民の「安心・安全」な暮らしを支えるため、現在約170人の先輩薬剤師が活躍しています。静岡県庁にある様々な業務内容については、県HPをチェック！

静岡県庁 薬剤師

検索

『危険ドラッグ』に対する注意喚起も 行っています



静岡県薬事課では、薬物乱用対策の一環として危険ドラッグ撲滅に向けて、不動産業界との連携で販売抑制を図るなど、積極的な取り組みを行っています。現在、危険ドラッグに関する専用の通報・相談窓口も開設。もし危険ドラッグに関してお気づきの点があれば情報提供にご協力ください。

<危険ドラッグ通報・相談窓口>

☎054-221-3317 (ささいな)

